

平成21年度 事務事業シート(一般事務事業)

継続事業(期限を定めず行う事業)

事務事業名	07荷さばき地の管理運営(コンテナターミナル)	コード	担当課	港営部港湾管理事務所コンテナ担当
		5082307	連携担当課	(港営部)港営課 (建設部)工事課、港湾工事事務所

1 事務事業の目的・目標(PLAN)

政策の体系	政策名	5安全な港		
	基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上		
	個別施策名	23港湾施設の機能を維持・強化する		
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		コンテナヤード補修箇所について、利用者の要望を聞きつつ、優先順位を定め実施します。		
開始年度		昭和 43 年度		
根拠法令・要綱等		名古屋港管理組合港湾施設条例		
事務事業の目的	対象 (誰を、何を)	コンテナヤード(荷さばき地、荷役通路)		
	意図 (どういう状態にしたいのか)	適切に管理し、利用者が使用しやすい状態を保つ		
活動指標	事務事業の実績を測る指標	単 位	算出方法(式)・指標設定の考え方	中間目標 (年度・目標値)
	飛島ふ頭北・南公共 コンテナヤード補修面積	m ²	利用者の要望に基づき優先的な補修箇所を決定し、実施します。	平成 24 年度 4,000
				平成 年度
成果指標	事務事業の目的の成果 を測る指標	単 位	算出方法(式)・指標設定の考え方	中間目標 (年度・目標値)
	飛島ふ頭北・南公共 コンテナヤード内事故件数	件	ヤード内で発生したヤードの陥没、轍が原因で発生した重大事故の件数を把握します。	平成 24 年度 0
				平成 年度

2 事務事業の実施(DO)

事務事業の実施内容 <平成20年度> と 平成21年度以降、シート 作成時点までに変更した 実施内容(ある場合) (内容は具体的に)		コンテナ担当は、利用者の要望に基づき、関係者と現地立会いの上、施設を安全に提供できるようにコンテナターミナル内の荷さばき地の補修を行いました。 飛島北荷さばき地で約4,500m ² 、飛島南荷さばき地で約1,500m ² の補修を行いました。				
項 目		単 位	平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算見込額)	平成21年度 (予算額)	
事業費 a		千円	36,316	47,313	20,000	
人件費 b		千円	8,859	8,945	9,091	
職員数	正規職員	人	1.02	1.02	1.02	
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	
	合計	人	1.02	1.02	1.02	
総事業費 a+b=c		千円	45,175	56,258	29,091	
活動指標	飛島ふ頭北・南公共 コンテナヤード補修面積	目標	4,000	4,000	4,000	
		実績 d	4,000	6,000		
		単位コスト	千円(c/d)	11	9	
		目標				
成果指標	飛島ふ頭北・南公共 コンテナヤード内事故件数	目標	0	0	0	
		実績	0	0		
		達成率	%	-	-	
		目標				
備考(補足説明等)		活動指標の目標数値についてはヤードの利用状況によって変わってくるため、具体的に定めることは困難であることから、平成19年度の実績の数値を目標値としました。				

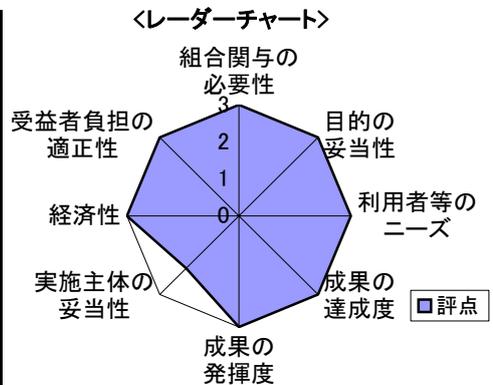
3 事務事業の検証<平成20年度実績>(CHECK)

視点	必要性	※各観点ごとに、該当する項目の点数(3~1)を評点欄に記入してください。法令や県の条例等により実施が義務付けられた事務事業については、全ての観点到点数0を記入してください。	
観点	評点	点数	
組合 関与の 必要性	3	3	本組合が関与すべき事務事業である。
		2	本組合が関与すべき必要性が薄れてきている。
		1	本組合が関与すべき必要性が薄く、事務事業の存続について検討すべきである。
目的の 妥当性	3	3	事務事業の意図は個別施策の成果に結びついており、対象の設定も妥当である。
		2	他港湾の水準や民間競合等の観点から、対象や意図の見直しを検討する必要がある。
		1	事務事業の意図と個別施策の成果との結びつきが低下している。
利用者 等の ニーズ	3	3	ニーズの高い事務事業である。
		2	ニーズに変化がみられ、事務事業の見直しを検討する必要がある。
		1	ニーズが低下している、あるいは、ニーズと比較してサービスの供給が過剰又は不足となっている。

視点	有効性	※各観点ごとに、該当する項目の点数(3~1)を評点欄に記入してください。	
観点	評点	点数	
成果の 達成度	3	3	成果の目標を達成している。
		2	成果の目標を達成していないが、概ね計画どおりに推移している。
		1	成果の目標を達成しておらず、進捗が遅れている。
成果の 発揮度	3	3	事務事業の実施内容に見合った成果が得られている。
		2	事務事業の実施内容を見直すことで、さらなる成果の向上が期待できる。
		1	現在の成果は十分とは言えず、事務事業を継続しても、これ以上、成果の向上は期待できない。

視点	効率性	※各観点ごとに、該当する項目の点数(3~1)を評点欄に記入してください。「受益者負担の適正性」については、事務事業の性質上、該当しない場合は点数0を記入してください。	
観点	評点	点数	
実施 主体の 妥当性	2	3	民間など他の実施主体を活用している、あるいは、本組合が主体となって実施する必要がある。
		2	現段階では、本組合が主体的に実施する必要がある。
		1	他の実施主体の活用により、さらなる効率化は可能である。
経済性	3	3	継続的にコストの削減を進めており、これ以上コストを下げる余地がない。
		2	電子化等の事務改善、事業手法、委託先、契約方法の見直し等により、さらなるコスト削減が期待できる。
		1	単位コストが悪化しており、早急にコスト改善を図る必要がある。
受益者 負担の 適正性	3	3	受益者の負担割合は適正である。
		2	社会経済情勢や他団体の類似事業との比較から判断して、負担割合を見直す必要がある。
		1	社会経済情勢や他団体の類似事業との比較から判断して、相応の受益者負担を求める必要がある。

総合所見	※必要性、有効性、効率性の検証結果から課題・問題点等を整理します。	
事務事業の改善・見直しの余地	<input type="checkbox"/> 多い	<input checked="" type="checkbox"/> 少ない
※該当する項目をチェックします。		
(所見欄) ※判断理由、課題・問題点等を記入します。		
<p>公共の施設においては、利用者に対して安全・快適に利用できる状態で施設を提供する必要があり、本組合の積極的な関与が必要かつ利用者のニーズも高いものとなっています。また、今まで利用者との調整を密にし、継続して補修を実施してきたことにより、ヤードの補修の不備が原因となった重大事故も発生していないため、現時点での事務事業の改善・見直しの余地は小さいと思われます。</p> <p>施設の補修工事の実施については、貨物量が多い時期については、収入も多く見込め、補修工事の財源は比較的確保しやすいが、大規模な補修工事は利用者との調整上、困難です。反対に、利用者が少ない時期については、大規模な補修工事を行うための利用者との調整はしやすいが、収入が減るため補修工事の財源の確保が困難になるという問題を抱えています。</p>		



4 事務事業の改善(ACTION)

事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 休廃止			
取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 加速	<input type="checkbox"/> 減速	<input type="checkbox"/> 延伸
コスト削減裁量余地	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無				

今後の改善策等(現実的かつ具体的に)	※個別施策管理シートの判定結果を踏まえ今後の改善策や取組方針を記述します。
<p>荷さばき地の補修工事については、毎年度ごと利用者等関係者との調整のうえ、予算要求し計画的に行う比較的大規模なもの、緊急性の高い比較的小規模なものに大まかに分けられます。これらについて、関係部署と緊密に調整することにより、効率的に補修工事を実施し、今まで以上に利用者に対し安全・快適に使用できる施設の提供ができるように努めていきたいと考えています。</p>	